

# 寄せられた意見

No. 155

受付日	H18. 8. 21	年齢	60歳	居住 市町村名	士別市
件名					
<p>長く天塩川流域委員会を傍聴させて頂き感じますことは、流域に暮らす人々の暮らしが、自然環境、希少生物の為等々、とても僭越ですがマスコミ受けする、そして時代が今求めている、と言う大儀の隠れ蓑に隠れ、本当に軽々しく扱われている事に今更ながら驚きと怒りを感じます。</p> <p>本来この委員会はその流域に住む人々の暮らしと安全を守るために天塩川整備計画を策定し、一日も早く安心な暮らし向きを計るためものと認識していますが、残念ながら今の状況では一部の方の横恋慕とも言える様な耐えられない我儘な要求に時間と多大な費用を掛け、ただただ時間を引き延ばされている様に思えてなりません。</p> <p>このような事では流域に住む私達の安心な暮らしは望めません、何卒一日も早く天塩川整備計画が決定され実施されますことを切に願って止みません。</p> <p>流域の下流にお住まいになられます漁業者の皆さんの暮らし向きを考えます時、上流及び中流に暮らす者の暮らし向きだけを一方的に語るわけにもいきませんが、今年もそうですが昨今の雨の降り方等々考えますと、とても不安でなりません。</p> <p>私達天塩川流域に住む者同士、色々異なる地域環境などを忌憚無く話し合って行けば、そこには必ず流域に住む者同士の共通認識が芽生え、素直に話し合いが出来ると思います。</p> <p>上流の者は中流及び下流の方々の暮らし向きに、中流の者は上流及び下流の方々の暮らし向きに、そして下流の者は上流及び中流の方々の暮らし向きに気配る事により、流域全体の人々の理解と協調が生まれると思います。</p> <p>この道北に住むもの同士、それぞれに環境は違えども暮らし向きの大変さ経済の自立の大変さに於いては、共通の悩みと認識いたします。</p> <p>何卒私達天塩川流域の者同士、胸襟を開き同じ悩みを共有し話し合い、その打開策と暮らし向き充実に向かって進みたいものと思います。</p> <p>流域の者同士如何か仲良く、とことん話し合いましょう、明日の道北の暮らしの為に。</p>					
天塩川流域委員会 殿					
平成18年8月21日					
住所 士別市					
氏名 匿名					
年齢 60歳					
性別 男					